

楽しさ自給率の高いまちへ

だい

広報
DAISEN

せん

2018
No.183

11

主な内容

| | |
|-------------------|-------|
| こどもと楽しいまちプロジェクト | 2-3 |
| みんなでやらいや！協働のまちづくり | 4-5 |
| 地方創生事業検証結果 | 6-7 |
| 平成29年度決算 | 8-12 |
| きょういく通信 | 13-18 |
| うるおい通信 | 19 |
| 人権のつぼ | 20 |
| まちの話題 | 21 |
| お知らせ | 22-29 |



みんな、輝け！

名和さくらの丘保育園の運動会が行われました。年長児の鼓隊が元気いっぱいオープニングを飾りました。

(10月13日・撮影)

大山町の 大人のみなさん 小中高生の声を 聞いてくれ!!

こどもや若者たちが

住み続けたくなくなる町へ

2018

11/23
祝

参加者
募集

〔対象〕
町内の小中高生
こどもたちの声を聞いてくれる大人の方

〔時間〕 14:00～16:00(受付13:30)

〔会場〕 大山町立名和中学校体育館

プログラム タイムスケジュール

| | | | |
|-------|---------------|-------|-------------|
| 13:30 | 集合受付 | 15:15 | トークフォークダンス② |
| 14:00 | トークフォークダンス① | 15:40 | 全体共有 |
| 15:00 | 発表/中高生のリアルな想い | 16:00 | 終了 |

主催：大山町 協力：慶應義塾大学SFC研究所

誰もが暮らしやすいまちを

作る！子どもをみんなまで

目指すまちづくり！

～子どもと楽しいまちプロジェクト～

大山町を誰もが暮らしやすい町に
していくためには、高齢者や大人だ
けでなく「子どもや若者の声」を聞
く必要があるのではないか。大山町
の未来を担う「子どもや若者の思い」
を、大人たちが受け止め、各地区の
地域づくりにダイレクトに反映させ
たり、若い世代が自分たちの力で実
現したりしていくような風土や仕組
みを作りたい。

そう思った思いを形にするために
本プロジェクトをスタートします。
これは、子どもや若者に特化したま
ちづくりを進めるわけではなく、現
状の様々な取り組みに反映されなく
い「子どもや若者の声」を取り入れ
ることで、全ての世代が切れ目なく、
幸せに暮らせる町にしていくための
プロジェクトです。

子ども・若者の声×地域づくり

子どもたちの声を取り入れた地域活動の
展開

【例】

- ・小中学生×地域自主組織→新たな取り
組み
- ・高校生×大人→若者の居場所づくり
- ・中学生×高齢者→地域を盛り上げるイ
ベント など

子ども・若者の声を聞こう

「トークフォークダンス」

大人と子どもが1対1で
フォークダンスのように1～
2分ごとに入れ替わって対話
するワークショップ。話題は、
地域のこと・学校のこと・暮
らし・悩みなど

この取り組みに関わる大人や高齢
者がやりがいや楽しさを感じ、同時
に地域や団体が抱えている課題や悩
みを解消することにもつながってい
けば、誰もが住み続けたいくなる町へ
近づけると考えています。プロジェ
クトの一環として、11月23日（金・祝）
にワークショップを開きますので、
ぜひ、みなさんお越しください。

「大山町の大人のみなさん

小中高生の声を聞いてくれ!!」

【日時】

11月23日（金・祝）

14時～16時（受付13時30分から）

【場所】

名和中学校体育館

【対象】

町内の小中高生、子どもたちの声
をきいてくれる大人の方

【プログラム内容】

①小中高生×まちの大人たち

子どもと大人で、トークフォー
クダンス

②大人たちに伝えたい！私の主張

中学生・高校生のリアルな想い

大山町の若者たちの「リアルな
気持ち」や「希望」を大人たちに
聞いてもらうため、町内に住む高
校生と中学生が、これから大山町
でやってみたいこと・実現して
みたいことを発表します。

【発表者】

*山内楓さん／米子南高3年

「高校生が集える居場所を自分たち
で作りたい」

*真島郁実さん／米子西高1年

「都会の高校生に大山町の魅力を伝
えたい」

【参加申込】

次の内容を申込先に電話・FAX・
メールにてお伝えください。

・氏名（フリガナ）・性別・住所・電
話番号・年齢

※参加者が学生の場合は、学校名と
学年も連絡。

◆申込み・問い合わせ先 企画課

☎ 0859・54・5202

FAX 0859・54・5216

Email kikaku@daisen.jp



▲トークフォークダンス



みんなでやらいや！ 協働のまちづくり

今月は「まちづくり光徳地区会議」と「まちづくり名和地区会議」です。

『まちづくり光徳地区会議』
「みんなで住みよい
地域づくり」を目指します！

まちづくり光徳地区会議は、旧光徳小学校区の16集落で形成されています。光徳エリアの地域特性と、地域の方々の特技を活かしつつ、『みんなに住みよい地域づくり』を目指して活動しています。活動拠点は、旧光徳保育所です。

今年度は、これまでの活動の見直しと強化を図り、『連携』をキーワードに、より多くの方に参加してもらえるよう努めています。

近年は少子化によって、集落単位の行事が困難になり、交流の場を持ちづらくなっています。子ども会活動もその一つです。そこで、各集落の子ども会を対象に「夏のお楽しみ会」をすることにしました。地区会議が、というよりも各子ども会の保護者と一緒に、というスタンスで企画しました。お楽しみ会当日は、乳幼児から大人まで約80人が参加し、大いに盛り上がりました。皆さんからの反応もよく、12月にはクリスマス会も計画することになりました。

この他にも、自分たちの住む地域の歴史や、史跡を学びながら散策す

る「歩いてみよいや光徳」や、現在の生活では、なかなか体験しない薪割りとロープを使って高い木に登る「薪割プロジェクト&ツリーイング」のイベントを行いました。

また、10月14日の「光徳地区レクリエーション大会」では、地域の方が一堂に会し、体を動かしてにぎやかに競技を楽しみました。

拠点施設の旧光徳保育所で、毎月第3日曜の午後は、サロンを開設しています。開催時には、子どもたちもやってきて卓球を楽しんでいます。地域の方にもっと活用してもらえようになりたいと考えています。

地区会議単独でまちづくりを推進めるのではなく、皆さんと一緒に考えて、地域の想いを『まちづくり』につなげていきたいです。

イベントでは、ぜひお越しいただき、一緒に楽しみましょう。皆さんの想いやご意見もお聞かせいただけたらと思います。

◆問い合わせ先

まちづくり光徳地区会議事務局(企画課内)

☎0859・54・5202

『まちづくり名和地区会議』
「やってみよう」を
まちづくりの活力へ!

まちづくり名和地区会議は、「住民と行政との協働のまちづくり」の取り組みとして、平成21年に活動を開始しました。以来、月に1回、地区内15集落から選出されたまちづくり委員による会議を、旧名和保育所で行っています。会議では、名和地区の皆さんに楽しんでいただけたたり、集落間の横の連携が取れたりするようイベントや地域活動を行っています。

【まんがキャッスル】

「まんがキャッスル」は、小中高校生を対象とした、地域の中で安心して集まって過ごせる居場所です。昨年9月にスタートし、不定期ですが、土・日のいずれかの午後と、春・夏・冬休みは、平日の午後に実施してきました。

ここを楽しみに来る子どもたちも少しずつ増え、毎回15人程度遊びにきます。パーティーの企画や野菜作りなど、自分たちがやりたいことを自分たちで考え、活動する場となっています。

【夏祭り】

子どもたちの「やってみよう」の実践の場として、8月4日に名和地区夏祭りを行いました。子どもたちも、企画段階から話し合いに加わり、準備期間を経て、店長として屋台の切り盛りを行いました。会議としては実施の全面サポートを行っています。



▶子ども屋台「おいしいよ!」

【今後の取り組み】

・まんがキャッスル
土曜日または日曜日の午後
(不定期)

・3B体操
月2回、日曜日の午前
(不定期)

・芋煮会
11月10日(土) お昼ごろ

・しめ縄講習会
12月9日(日) 9時~12時



▲スイカをたくさん提供していただきました



▲スイカ割りは大盛況

まちづくり名和地区会議は、地域自主組織設立のため、共に活動する仲間と名和地区のみなさまの応援を必要としています。活動は強制ではなく、自分ができる範囲のことを、できるときに、できるだけかまいません。

子どもだけでなく、大人のやりたいても実践できる場です。興味のある方は、ぜひ遊びに来てください。

◆問い合わせ先

まちづくり名和地区会議事務局

(企画課内)

☎0859・54・5202

「平成29年度大山町地方創生事業」

外部検証委員会検証結果

大山町は、政府の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年10月に「大山町しごと・ひと・くらし創生総合戦略」（以下、総合戦略）を策定し、その計画に沿った地方創生事業を、地方創生交付金を活用しながら実施しています。

総合戦略外部検証委員会では、年度ごとに事業効果を数値目標に限らない広範囲の視点から検証を行うこととしており、今年度は、8月2日に実施しました。

平成29年度に実施した地方創生事業

業について、下記のとおり委員の方からご意見をいただいたので報告します。

この検証結果を踏まえ、30年度も継続される事業についてご指摘を参考にしながら展開していきます。

また、必要に応じて外部検証委員会を開催し、本町の地方創生事業を総合戦略の目標に即した実りあるものになりたいと考えています。

◆問い合わせ先 企画課

☎0859・54・5202

大山町しごと・ひと・くらし創生総合戦略外部検証委員会

(敬称略)

| 団体名 | 氏名 | |
|-------------------|--------|-----|
| 大山町商工会 | 岸本 耕二 | 会長 |
| 大山町職員労働組合 | 池信 昌隆 | 副会長 |
| 大山町企業連絡会 | 片木 威 | |
| 西部総合事務所 | 笠見 和昭 | |
| 鳥取大学 地域学部 | 多田憲一郎 | |
| 鳥取銀行名和支店 | 前田 博史 | |
| 山陰合同銀行名和支店 | 今出 正 | |
| 新日本海新聞社 | 小谷 和之 | |
| アマゾンラテルナ 鳥取大山オフィス | 貝本 正紀 | |
| 大山地区三色会 | 荒金 恵美子 | |
| 女性団体連絡会 大山女性の会 | 桑原 可菜子 | |

平成30年度 大山町しごと・ひと・くらし創生総合戦略外部検証委員会 結果 (平成29年度 実施事業の検証)

| 番号 | 事業名 | 事業目的 | 事業成果 | 主な意見 |
|----|---------------------------------|---|--|--|
| 1 | 大山グルメ食道推進事業 | 「食」のクオリティの向上・農工商連携等を行い、町内全域の食の魅力向上と経済活動活性化につなげる。 | 事業者のアグリフードエキスポ出展・1300年記念メニュー開発・大山町食べ歩きマップの作成 (15,000部) | <ul style="list-style-type: none"> アグリフードエキスポでは、全国のバイヤーが大山の自然薯に関心を持ち、今後の展開のきっかけづくりとなった。更に小規模事業者の参入を進める努力が必要。 食べ歩きマップの作成後が重要。町外への発信力の向上が必須。 |
| 2 | 大山グルメ食道飛躍編商品力向上事業 | 販売物のパッケージ等の改良を行い、商品価値を向上させ、地域経済の活性化を図る。 | 2事業者を支援 (パッケージ改良1件、ホームページ改良1件) | <ul style="list-style-type: none"> パッケージの改良は、指導に当たる高度人材が必要。 |
| 3 | 高度人材の招聘事業 | 町内産業の生産性を延ばすため、事業者に高度人材を入れ、自立できるよう、指導を行う。また、持続可能なスモールビジネスの創生にも活用する。 | 大山観光局に企画員を雇用。ツアーメニュー開発・検証を行った。デザイナー・ライター・翻訳者を活用し、情報案内カードによる情報発信を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 人材受け入れ後の運用、支援体制の構築が必要。 ツアーメニュー開発は、新しい企画を期待させる。 観光案内カードは全体像が見えにくい。中国語や韓国語の説明も欲しい。 |
| 4 | 来訪者受入体制の強化事業 総合案内所機能強化事業 | 大山観光案内のワンストップ化を目指し、通訳によるインバウンド対応を進める。情報発信により、観光客の流れを里へ促す。 | 大山案内所機能強化(環境整備)事業として、カウンター壁面改修、Wi-Fi環境の整備等を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 通訳の強化(英語、中国語、韓国語など)が観光客への評価向上につながり、リピーター発信を拡大する。 外国語対応のIT機器の導入や案内看板の設置などが必要。 |
| 5 | 来訪者受入体制の強化事業 新複合商業施設の集客力強化事業 | 施設内整備(備品)とプロモーションやキャンペーンを行う。 | 複合商業施設「大山参道市場」のオープンに向けて、厨房機器などの備品を購入した。 | <ul style="list-style-type: none"> 国内への情報発信不足を感じる。直近まで伝えられなかった。 大山寺地区の核施設として期待(近隣店舗とのシナジー効果) 店舗に入りやすい建物のデザイン。 |

| 番号 | 事業名 | 事業目的 | 事業成果 | 主な意見 |
|----|-----------------------------------|--|--|---|
| 6 | 来訪者受入体制の強化事業 高度人材活用による情報発信強化事業 | 旬の情報を発信できる人材育成を行う。 | 海外他地域(ハワイ州)への情報発信、交流基盤構築業務を実施。ハワイ経済界のヤングリーダーを7月に大山へ招き、経済交流の討議を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後の方向性の中に情報発信のためのツールづくりや人材育成などの体制づくりの検討が必要。 ハワイ連携事業が継続性のある活動に期待。 30年度ボーイズリーグの世界野球大会を応援する。 |
| 7 | 地域の魅力向上事業 文化歴史資産の活用事業 | 新商品開発への支援 | 大山寺エリアの歴史的資産の商業活用検討として「写真で地蔵ロゲイニング in 大山寺」を開催。 ※ロゲイニング・・・制限時間内にチェックポイントを周り、その得点を競う。 | <ul style="list-style-type: none"> 好評な取り組み。地域の魅力に資する有効な施策。継続的に提供できる体制が必要。 日本遺産、さいの神さん、妻木晩田遺跡、寺、神社等への展開にも期待。 |
| 8 | 来訪者満足度の向上 バリアフリー化事業 | 観光案内所など、バリアフリー化を行う。 | 29年7月に移転した観光案内所の入口段差解消として、スロープの設置と身障者用の駐車場を設置。 | <ul style="list-style-type: none"> バリアフリーはスロープだけでなく、駐車場の広さや傾斜にも配慮が必要。授乳室も必要性を感じる。 |
| 9 | 来訪者満足度の向上 高度人材活用事業 | マーケティングによる、観光戦略の構築が行える人材の確保・育成を図る。 | 大山観光局にて、既存旅行商品の調査・分析、マーケティング、ガイドができる人材の育成を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 人材育成は、事業の具体的な目標値が必要。行政との連携も必要。 情報データ集積のためのマーケティング継続による戦略の構築、実践を期待。 |
| 10 | 商品力強化事業 エコトラック推進強化事業 | 地域資源やローカルイベントを活用した旅行の商品化などを行う。 | ジャパンエコトラック1号ルートに町内コースが新たに認定・追加され、ルートマップの作成(10,000部)を実施。全国のモンベル店舗に配布。 | <ul style="list-style-type: none"> 訴求力のある商品開発、協力店舗の拡充が課題で、地域住民への周知・理解を深める努力が必要。 大山口駅が窓口。レンタルサイクル、タクシー、カフェなど展開が必要。 お茶や休憩場所の提供は、可能。共通のマーク(看板など)があるといい。 |
| 11 | 商品力強化 特産品・名産開発強化事業 | グルメ食道PR用ビデオ制作を行う。 | 「生業を営む人」が名物とし、大山の「跡継ぎ」にスポットを当てたPR用ビデオを制作。「大山男子」ブランドを立上げた。 | <ul style="list-style-type: none"> 「大山男子」は、おもしろい。更に展開させてほしいが、ブランドの活用策が見えない。 単年度で終わらず、継続的に活用していく努力が必要。 |
| 12 | 商品力強化 (株)さんどうの活動強化・高度人材活用事業 | (株)さんどうが、人材発掘と商品企画力等の強化を行い、町内事業者にもうける力をつける活動を行う。 | 移住者3名を雇用。店舗ブランディング、メニュー開発・販売・PR活動を通し、各人材のスキルアップを図った。 | <ul style="list-style-type: none"> 実際の起業につながっている点が良い。 人材育成の目標設定が必要。町内の起業にもつなげてほしい。 |
| 13 | 「新複合店舗」建設による大山参道にぎわいの復活事業 | 新複合店舗の建設と廃店舗解体撤去工事 | 廃店舗の取得・解体を実施。観光客が滞留するスペースとして複合商業施設の建設を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 大山寺参道エリアの核施設として機能強化、魅力向上を期待。 周辺店舗への集客、シナジー効果創出となる連動性を期待。 |

【全般的な意見】

- ◆インバウンドも大切だが、まずは県内外への情報発信。
- ◆事業に対し、直接評価できる目標設定が必要。
- ◆年次ごとの計画に対して相対的な評価をすべき。
- ◆いかに大山町にきてもらうか、知ってもらうか、関心を持ってもらうか、効果的に対策を根気よく打ち出していく必要がある。
- ◆地域住民が恩恵を実感できる事業を期待。
- ◆人材を育て、先の大山町の発展につなげなければ、本当の意味で地方創生とはいかない。

平成29年度

大山町決算の状況

平成29年度一般会計及び14の特別会計の決算と水道事業決算が大山町議会定例会で、4つの財産区特別会計が大山町財産区議会でそれぞれ認定されました。

一般会計の決算額は、歳入が118億4748万円、歳出が112億3589万円となり、平成30年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は5億4617万円の黒字となりました。

【決算の状況（一般会計）】

| 区 分 | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度増減額 |
|-------------|------------|------------|-----------|
| 歳入総額 | 118億4748万円 | 118億7311万円 | △2563万円 |
| 歳出総額 | 112億3589万円 | 110億7945万円 | 1億5644万円 |
| 差引額 | 6億1159万円 | 7億9366万円 | △1億8207万円 |
| 翌年度に繰越すべき財源 | 6542万円 | 2億8680万円 | △2億2138万円 |
| 実質収支 | 5億4617万円 | 5億686万円 | 3931万円 |

民生費

福祉事業などに要する経費

26億4168万円

総務費

管理事務全般、地域振興などに要する経費

19億4727万円

農林水産業費

農林水産業の振興に要する経費

16億7038万円

公債費

借入金の返済に要する経費

14億3554万円

教育費

学校や図書館、文化振興などに要する経費

8億9380万円

土木費

道路・住宅整備などに要する経費

8億4576万円

衛生費

ごみ、し尿、病气予防などに要する経費

6億7111万円

商工費

商工業振興、観光振興などに要する経費

6億5712万円

消防費

消防・防災対策に要する経費

3億5257万円

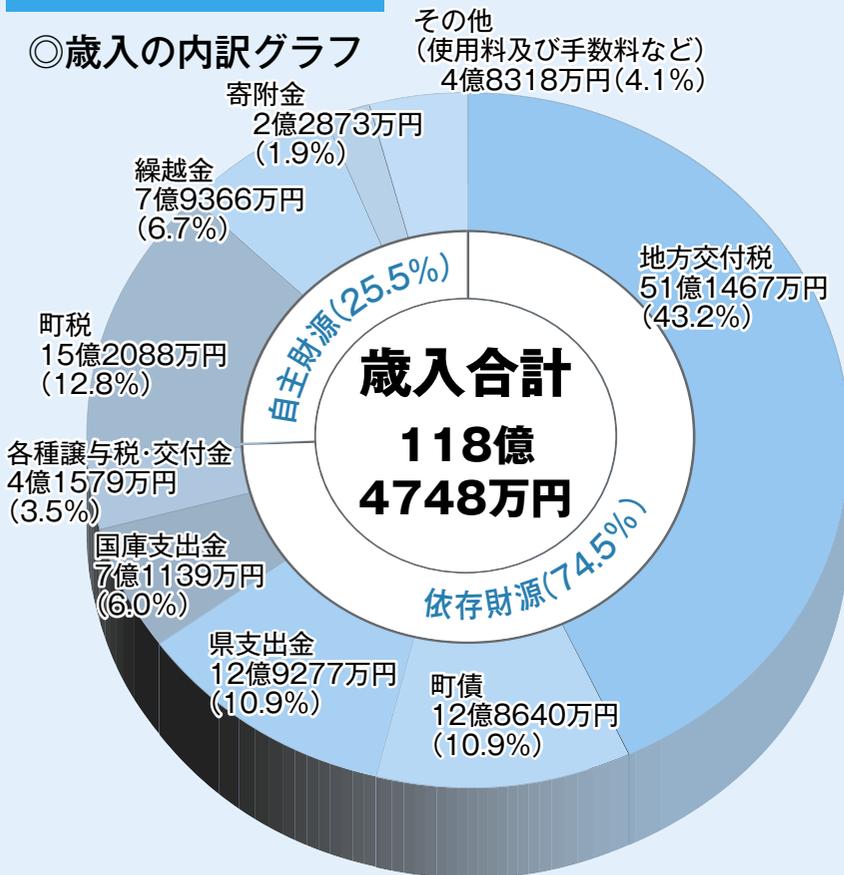
その他

災害復旧費、議会運営などに要する経費

1億2066万円

一般会計歳入

◎歳入の内訳グラフ



町の自主財源は 25.5%

■歳入の説明

歳入決算額は118億4748万円で、前年度と比べて0.2%の減少となっています。減少の主な要因としては、平成27年度から始まった合併算定替措置の縮減による普通交付税の減などによるものです。

また、このうち町税など自主財源は全体の25.5%、地方交付税などの依存財源は74.5%を占めており、町の歳入は地方交付税などに大きく頼った構造となっています。

町税、ふるさと納税などの寄附金、諸収入、使用料及び手数料などといった自主財源比率を上げていくことが町の課題となっています。

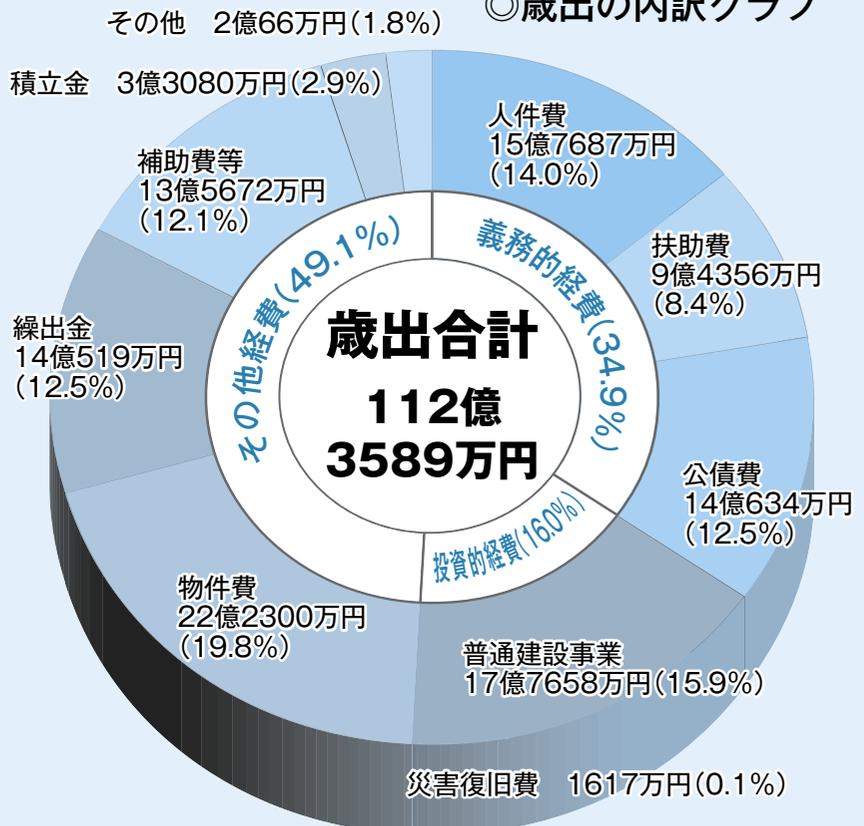
一般会計歳出

■歳出の説明

歳出決算額は112億3589万円で、前年度と比べて1.4%の増加となっています。

大山開山1300年を見据えた大山参道のにぎわい復活のための複合商業施設『大山参道市場』建設事業や情報通信設備の更新整備事業の実施などが増加の主な要因となっています。

◎歳出の内訳グラフ



■町民1人当たりの額

昨年度支出した額を、町民1人当たりの金額で算出すると

68万2495円を支出

※平成30年3月31日現在の人口で計算

平成29年度に 実施した主要な事業

昨年度、大山町が実施した事業の中から、主要事業についてお知らせします。

人口減少対策

■移住定住促進事業…………… 2100万円

相談員の配置、移住交流サテライトセンターを設置し、移住希望者への相談・物件紹介を行うとともに、移住定住助成金など各種事業により移住のきっかけ、定住の促進を図りました。



■高等学校通学定期乗車券等購入補助金事業…………… 530万円

高等学校等へ通学する生徒の保護者に対して定期乗車券の購入に要する経費を支援することにより、保護者の経済的負担を軽減し、町内者の町外流出防止及び町外者の移住定住を図りました。

■学校給食費補助事業…………… 2301万円

2学期から町内小中学校給食費の保護者負担の1/2補助を実施し、働く現役世代の子育てにかかる負担軽減を図りました。

■保育料無償化等子育て支援事業

平成29年9月から3歳以上児童の保育料無償化を実施し、子育て世代の経済的負担軽減を図りました。

住みやすいまちづくり

■健康づくり推進事業…………… 2881万円

健康診査、がん検診、健康指導、健康教育、精神保健、自殺対策、食生活改善など住民の心身の健康づくりに関する各種事業を実施しました。

■高齢者在宅生活支援事業…………… 915万円

高齢の方が住み慣れた地域社会の中で引き続き生活できるよう、外出支援サービスなど必要な支援を行いました。

■自治会集会所整備事業…………… 191万円

集落活動に必要な集会所の整備に要する経費の一部を支援することにより、住民の連携意識の高揚と住民参加によるまちづくりを推進し、地域の活性化を図りました。



地域の産業振興

■森林・林業再生基盤づくり事業

…………… 1億7400万円

森林・林業の基盤となる施設機械等の整備に係る経費の補助を行い、林業の持続的かつ健全な発展と地域財利用の推進を図りました。

■がんばる農家プラン事業…………… 2480万円

自らの創意工夫による取組を行っている農業者等が作成した生産流通等に係る計画（プラン）を認定し、プラン実現に必要な支援を行うことにより、地域農業の振興と活性化を図りました。

■酪農振興対策関係事業…………… 1億1143万円

酪農担い手農家の生産性向上を図るため、牛舎建築・改築事業に係る造成費・施設設計費に対して助成を行いました。

■鳥取和牛振興総合対策事業…………… 1761万円

和牛増頭（雌牛購入）に係る費用に対して助成を行うことにより、和牛振興を図りました。

■工業団地造成事業…………… 1150万円

工業団地整備を行うことにより、企業立地を促進し、雇用機会の拡大と町内の経済活性化を図りました。

■雇用創出促進事業…………… 248万円

町内事業者が町民を正規雇用した場合、事業者に対し法定福利費相当額の助成（正規雇用から3年間を限度）を行うことにより、雇用創出の促進を図りました。



その他の主要な事業

■複合商業施設建設事業…………… 3億1956万円

大山にぎわい復活のため、老朽空き店舗を取り壊し、跡地に複合商業施設『大山参道市場』の建設を行いました。



■情報通信設備等更新事業…………… 2億1831万円

情報通信サービスの提供を継続、安定的に行うための局舎及び加入者宅にある設備等の更新並びに自主放送及び議会中継の高画質化を行いました。

■本庁舎改修事業…………… 9708万円

老朽化した本庁舎外壁及びトイレ等の改修工事を実施し、施設の長寿命化を図りました。

■ふるさと応援基金事業…………… 2億2752万円

ふるさと納税のPRや寄附をいただいた方へ大山町内で生産・製造された商品やサービスをお礼の品として贈呈しました。29年度の寄附額は2億2657万円となりました。

特別会計

※特別会計とは

国民健康保険は国民健康保険税で、介護保険は介護保険料でといったように、特定の収入で特定の支出を賄う仕事をまとめた会計です。

| 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 |
|-------------|-----------|-----------|---------|----------|----------|
| 土地取得 | 26万円 | 26万円 | 公共下水道事業 | 3億9776万円 | 3億9768万円 |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 1429万円 | 1419万円 | 風力発電事業 | 5360万円 | 4771万円 |
| 開拓専用水道 | 1358万円 | 1099万円 | 温泉事業 | 1459万円 | 1459万円 |
| 夕陽の丘神田 | 1356万円 | 1356万円 | 宅地造成事業 | 4455万円 | 1295万円 |
| 国民健康保険 | 25億5125万円 | 24億494万円 | 索道事業 | 1599万円 | 1599万円 |
| 国民健康保険診療所 | 3億3020万円 | 3億3020万円 | 中山財産区 | 509万円 | 128万円 |
| 後期高齢者医療 | 2億373万円 | 2億329万円 | 上中山財産区 | 826万円 | 162万円 |
| 介護保険 | 23億7744万円 | 22億5229万円 | 下中山財産区 | 425万円 | 119万円 |
| 農業集落排水事業 | 4億4387万円 | 4億4385万円 | 逢坂財産区 | 304万円 | 121万円 |

企業会計

※企業会計とは

民間企業と同じようにその仕事自体に収益があり、その収益で支出を賄う仕事をまとめた会計です。

| 水道事業 | | |
|-------|----|----------|
| 収益的収支 | 収入 | 3億807万円 |
| | 支出 | 2億7170万円 |
| 資本的収支 | 収入 | 9667万円 |
| | 支出 | 1億8380万円 |

主な財政指標について

平成19年に制定された『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』により、毎年度、財政健全化判断比率などを算定し、議会に報告するとともに町民の皆さんに公表しています。

| 指標 | 内容 | 平成29年度算定結果 | 早期健全化基準 _※ |
|---------|---------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 健全化判断比率 | 実質赤字比率 | 一般会計を中心とした赤字の割合 | 赤字なし 14.08% |
| | 連結実質赤字比率 | 一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合 | 赤字なし 19.08% |
| | 実質公債費比率 | 町の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合 | 9.70% 25.00% |
| | 将来負担比率 | 町の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債（借金）の割合 | 9.70% 350.00% |
| 資金不足比率 | 公営企業ごとの資金の不足額が事業の規模に対する割合 | 全会計なし 20.00% | |

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取組みが必要となります。

町債残高・基金

■町債借入金残高

| 区分 | 年度末現在高 | |
|-------------|-------------|-----------|
| (一般会計) | 108億9555万円 | |
| 特別会計 | 住宅新築資金等貸付事業 | 1009万円 |
| | 夕陽の丘神田 | 587万円 |
| | 国民健康保険診療所 | 2億5175万円 |
| | 農業集落排水事業 | 30億6044万円 |
| | 公共下水道事業 | 27億3747万円 |
| | 風力発電事業 | 3511万円 |
| | 宅地造成事業 | 2980万円 |
| | 索道事業 | 8131万円 |
| (企業会計) 水道事業 | 9億9335万円 | |

■基金残高（一般会計）

| 区分 | 年度末現在高 |
|-----------|-----------|
| 財政調整基金 | 18億3667万円 |
| 減債基金 | 6億8123万円 |
| その他特定目的基金 | 33億7176万円 |
| 一般会計合計 | 58億8966万円 |

※財政調整基金：年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金（町における貯金）

※減債基金：将来の借金の返済に備え、積み立てる基金

決算の状況のくわしいことについては町のホームページをご覧ください。

<https://www.daisen.jp/p/1/10/34/48/3/1/7/>

シリーズ③ 学力向上への道
わが校の学力向上の
取り組み



◎合言葉は

「善い種をまごう！」

「善い種」とは「思いやりの気持ちや頑張る姿」のことです。一人一人が安心して学校の諸活動に取り組み、満足感を味わうことができるように、「善い種」を学校や地域にまいていこう、という取り組みをはじめて5年目。この合言葉が随分と定着してきて、学校生活の様々な場面で使われるようになりました。



▲生徒会マスコット「とりぼう」

生徒会マスコットの「とりぼう」は、「善い種」の象徴として、いつまでも全校生徒を見守っています。

◎「授業」が一番大切！

中山中学校が目指しているのは、「全員参加のわかる・できる授業」です。そのために、標準学力調査や全国学力・学習状況調査、中間期末考査や日々の授業での小テストなどを活用して、学力の実態把握と課題の明確化に努めています。

そして、毎時間の学習目標をはっきりさせ、基礎基本を大切にしながら、「よく聴いて、よく考えて、丁寧な活動をする」授業を進めています。

1学期に行った学習活動調査では、「授業では、先生の話をしっかりと聞いている 97・5%」「授業では、きちんとノートをとっている 96・8%」という結果でした。その時間にやるべきことを確実にこなし、それをこつこつと続けることで、学力は定着していきます。

しかし、「授業のために予習をして



▲授業中の一場面 ノートをとっている様子

いる・授業で習ったことは復習をしている」と答えた人数が少なかったことが課題です。授業で学習したことを確認したり、新しい考えや疑問が生まれたりすることが、次の学習につながると思います。家庭学習の目安時間である1年生105分、2年生120分、3年生135分（大山町家庭学習の手引きより）の達成を目指します。

◎みんなで勉強する！

一人一人がより快適に授業に取り組めるように、生徒会や学級でのキャパシティ活動も盛んです。

チャイムと同時に授業を開始する

「チャイム着席」、大きな声で挨拶をしてから礼をする「分離礼」、「授業態度」や「忘れ物」など、生徒同士で声を掛け合って取り組みます。単に「できた・できない」を競うのではなく、自分の言動が周囲に及ぼす影響や、人と協力することの良さを実感できる取り組みとなっています。

◎見方、考え方を広げる！

生徒の授業の感想に、次のような一文がありました。

「国語と美術の授業で『レオナルド・ダ・ヴィンチ』について学びました。彼のことは『絵がうまい人』ということしか知りませんでした。が、学習したことにより、彼の絵のすごさがわかりました。絵を描くときに計算をしたり、奥行きを出すために作図をしたりして、他の教科でやるようなことをして絵を描いている彼は素晴らしいと思います」。

ただ言葉を覚えるだけでなく、その意味を考える学習を続けま



シリーズ④ 学力向上への道

わが校の学力向上の
取り組み



大山中学校

大山中学校では、今年度の学校教育目標「仲間とともに、目標に向かって粘り強く挑戦する生徒の育成」のもと、人権教育を土台にした人間関係づくり、学力向上、生徒会活動などの『自治』活動の推進に重点を置き、取り組んでいます。

重点の一つである学力向上については、『学び合い』による学習の推進と、家庭学習の充実が柱です。

『学び合い』による学習の推進

小学校から中学校への学びが連続するよう、小学校との連携を図りながら協同学習に基づいた授業研究を進め、「みんながわかる授業づくり」に取り組んでいます。今年度は協同教育学会から講師を招いて、小中学校合同の研修会や授業研究会などを行い、『学び合い』の実践について取り組みを進めています。

また、校内では、『学び合い』を基盤とした「わかる」授業づくりと、「できる（身につく）」実感を通じた学習意欲の向上をねらって、年3回の授

業研究会を実施しています。

さらに研究部会では生徒が考えを深められるような授業や、考えを説明できるような場面の設定、より良いグループ学習につながる振り返りや相互評価の取り組みについて検討と実践を行っています。



▲校内授業研究会の様子

生徒には、折に触れグループ学習のルールを指導しながら、授業の中で『学び合い』の場を設定し、仲間と関わりながらより深い学びになる



▲1年宿泊研修でのグループ学習の様子

よう努めています。1年生は入学後の宿泊研修で、グループ学習のルールを体験することからスタートしました。

家庭学習の充実

学力向上には家庭学習の充実が欠かせません。

そこで、毎日、終わりの会の後に5分間の「フォローアップタイム」を設定しています。家庭学習の助走となるよう課題プリントに取り組み、やり残した問題を家庭に帰ってから解いて、翌朝学校で解答を確認するようにしています。

また、木曜日は部活動のない日と

して、放課後を「全校補習」にあて、重点教科のプリントに取り組んでいます。現在学習している内容だけでなく、下学年の学習内容を復習するなど、反復徹底することで確実に力がついています。

定期テスト前の放課後には、テスト対策として「ジャンプアップタイム」を設定しています。テスト範囲表の活用につながる勉強法の指導や、テスト範囲の練習問題の取り組みなど、家庭学習において何をすべきなのかを意識し、自主的に家庭学習へつながるように促しています。

4月に行った生活行動・学習活動調査では、「将来の夢や目標を持っている」生徒の割合が、全国と比較するとかなり低くなっている学年もありました。学力をつけることは自信につながります。夢や希望を持って力強く前進できる生徒の育成を目指して、学力向上に取り組んでいます。



「家庭の日」普及事業

「家庭の日」作品コンクール

～青少年育成大山町民会議～

青少年育成大山町民会議では、青少年が健全に育まれる家庭づくりを重要な柱として「家庭の日」の普及・啓発に努めています。

今夏、作品を募集し、小学生から一般まで合計511点の応募があり、審査の結果、入賞作品が決定しました。

○小学校下学年 写真の部

- 最優秀賞 茨木すみれさん
- 優秀賞 山川夏輝さん
- 優良賞 妹尾いろはさん
- 優良賞 永井音羽さん

○小学校上学年 写真の部

- 最優秀賞 美甘潤也さん
- 優秀賞 繁浦古都子さん
- 優良賞 川崎拓夢さん
- 優良賞 池本惺音さん

○中学生 写真の部

- 優良賞 馬田優月さん

○家族 写真の部

- 優秀賞 池本翔星さん
 - 優良賞 大柄健太さん
- (※一般の部は、入賞者がありませんでした。)

○中学生 ポスターの部

- 最優秀賞 中田仁子さん
- 優秀賞 真島光悠さん
- 優良賞 清田真央さん
- 優良賞 野口絢加さん



▶「全力笑顔」 中田仁子さん



▲「すもうの練習」 河本優也さん



▶「私と花火とお父さん」 金田穂花さん

寄付をありがとう
ぽんぽんまじった

長田のサンングレス株式会社から20万円の寄付をいただきました。

この寄付は「子どもたちの読書環境整備に役立ててほしい」とサンングレスの創業当初から続けられているもので、今回で28回目となりました。贈呈式は9月12日に行われ、同社の後田取締役社長から竹口町長と鷲見教育長に手渡されました。



▲寄付を手渡す後田社長

第4回 大山学講座

地蔵を巡り大山の歴史を学ぶ尾高道と大山寺編

第4回大山学講座を10月3日に行いました。名和歴史研究会の金田千義さん、大山町ガイドボランティアの会の阿部誠さんを講師に、定員いっぱい24人が参加しました。

午前中はバスで講師の説明を聞きながら、尾高道の常夜灯や道標、大山道と丸山集落の分岐点であった「分の茶屋跡」などを巡り、ありし日の尾高道を大山寺に向かう参拝者の姿を想像することができました。昼食をはさんで午後からは、寂靜



▶豪円山の西楽院歴世の墓を見学

山と豪円山周辺の地蔵を、江戸時代以前の寺院があった有様を思い描きながら巡りました。尾高道について、初めて知ったという参加者が多く、講師の話に熱心に聞き、様々な質問が出ていました。秋の大山のすがすがしさを堪能し、大山1300年の歴史が実感できる講座となりました。

笑顔の花がいつぱい 女性レクリエーション大会

大山町女性団体連絡協議会主催の第13回女性レクリエーション大会が、9月22日に大山農業者トレーニングセンターで開かれ、150人が参加しました。

「じゃんけんポンでおたまちゃん」「ドキドキ・パイプライン」などの競技や、「素敵でショー」では、地区ごとに揃いの衣装で息のあった踊りを披露しました。

最後に全員で、各地区を代表する「いさい踊り」「鬼太郎大山音頭」

知らないことがいっぱい...

『まち学探検』なわ通学合宿

名和公民館

9月19日から23日までの4泊5日間、名和小学校の4年～6年生23人が、「通学合宿」に参加しました。

参加児童は、御来屋漁村センターを会場に、多くの支援スタッフに支えられながら、食事作り・掃除・洗濯などの生活体験に挑戦し、座禅、地域交流の場「ふれあい交流会」、自分たちのまちを知る「まち学探検」

などを体験しました。

今回の「まち学探検」では『フィールドビンゴ』に6チームがチャレンジ。御来屋地区の商店や神社、漁港など9か所に設けられたクイズや体験ポイントを巡り、3つ揃えば「ビンゴ!」となります。

ひねった問題もあって、なかなか正解になりません。みんな慎重に相談するチームや、自分勝手に答えて間違えてしまうチームなど大騒ぎ。子どもたちからは生き生きとした笑顔があふれ、通学合宿ならではの体験を楽しみました。



▲じゃんけんポンでおたまちゃん



▲ただ今、クイズに挑戦中!(塩谷糰味噌店)

オリンピック・パラリンピックがやってきました！

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、機運の醸成や大会・競技への理解、促進を図ることを目的に、オリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグが全国を巡回しています。

9月11日にリオデジャネイロオリンピック、パラリンピックより引き継いだフラッグが大山町にもやってきました。1日のみの限定展示でしたが、来庁された多くの方に見ていただくことができました。56年ぶりに日本で開催されるオリンピック・パラリンピックを鳥取からも盛り上げましょう。



体を動かしてみませんか？

～軽スポーツ体験会～

11月9日に名和農業者トレーニングセンターで、軽スポーツ体験会を行います。体験するのは「ボッチャ」「輪投げ」「スポーツ吹き矢」です。高齢の方も障がいのある方も気軽に楽しめるスポーツです。一緒に楽しみましょう。

- ◆日時 11月9日(金)
13時30分～15時30分
- ◆場所 名和農業者トレーニングセンター
- ◆競技 ボッチャ、輪投げ
スポーツ吹き矢
- ◆申込期限 11月6日(火)
- ◆申込み・問い合わせ先
社会教育課生涯学習室
☎0859-54-5212

中学生が赤ちゃんふれあい会

町内の各中学校が、3年生を対象に赤ちゃんふれあい会を行いました。これは、将来親となる世代が、赤ちゃんのぬくもりや親の思いにふれることで、命の大切さと子育てについて学び、自らの将来を考える機会とすることを目的としています。

講師は、県内で活躍する子育て支援アドバイザー・松本寿栄子さんと助産師・田中恵子さんで、スタッフには町の子育て支援センター職員も加わり、手遊びや、抱っここの仕方を中学生に直接アドバイスしました。

中学生からは、「子育て中のお母さんは大変だと思った。改めて育ててくれた親をありがたと思った」「自

分もこうやって育ててもらったんだと思った」と感想が聞かれました。また、参加した赤ちゃんの保護者からも、「中学生が慣れないながらも一生懸命接してくれてうれしかった」「わが子の将来をイメージすることができ、子育ての励みになった」と話されました。

ふれあい会は毎回、約20組の赤ちゃん親子が参加しており、同じ世代の赤ちゃんを持つ親同士のネットワークづくりの場にもなっています。



▲中山中学校(9月26日)



▲大山中学校(9月18日)



▲名和中学校(10月2日)

国史跡大山寺旧境内の石垣を復旧中！

大山町教育委員会では、大山寺旧境内西楽院等石垣復旧工事を行っています。

西楽院は明治8年まで大山寺の本坊だったことから、立派な切石積の石垣が多く見られます。石垣復旧では、度重なる災害などにより傷んだ石垣を、調査と並行して解体と積み直しを行っています。一部に地盤沈下や石材の欠損があり、完全に元通りとはいきませんが、文化財として本来の石垣の姿を復元し、その記録も残していきます。

この復旧工事は11月末までの予定です。工事の様子は見学できますので、ぜひ足をお運びください。

(社会教育課 文化財室)



▲石垣解体の様子

まちのたから (44) 文化財室通信

シリーズ 「日本遺産」 外伝 二

今回から、日本遺産のストーリーを価値付けしている構成文化財や指定等文化財との関わりについて紹介します。

御興行幸 (御幸)

みこしぎょうこう みゆき
平安時代中期の天慶2(939)年、平将門が謀反を起こしたとき、大山寺は朝廷の祈願所だったことから、勅使の命を受け、将門平定の祈願法要を行うために各々の堂社の本尊を御輿に乗せ、一か所に集めて法要を行ったことが御幸の始まりだと伝わります。その後、毎年4月24日の大山さんの春祭りの日に行われてきました。

江戸時代には、祭りの様相は派手になり、御輿の数も七社まで増え、領内村々に対して前年から役割を振り当てられました。『大山寺縁起』にも登場する八大竜王の幟を先頭に、面、獅子、拍子方、下山明神、霊像権現の幟に先払い、鉄砲組、奉行と300人もの人々に守られたものでした。行列の中心は大山寺の本尊である大智明権現の御輿で、最も厳重

に守られました。

この祭りを安全に行うため、幕府は鳥取藩に命じて50人の士卒を警固にあたらせました。その様子は、鳥取県立博物館所蔵の『大山寺博労市図』にも描かれています。江戸時代中期以降、春祭りの日には博労座で牛馬市も行われていましたので、それは大変なにぎわいだったことでしょう。

廃仏毀釈後、元の大山寺領内の人々の信仰に支えられ、御輿の数は減りながらも続けられました。道具の焼失などで一度途絶えましたが、その後、二基の御輿の修復を経て、昭和62年に御幸は復活し、現在は3年に1度行われています。

特別な「御興行列」

今年の5月20日、大山開山1300年の幕開けとして、大山寺では開創法要が執り行われ、御興行列が参道を練り歩きました。

この行列は、女性も担ぎ手となつたこと、大山寺との因縁がある三徳山三佛寺の御輿が担がれたことが画

期的で、この特別な日に御興行列が彩りを添えました。

大神山神社奥宮八角御輿

大神山神社奥宮社殿の中には、御興行幸の花形である御輿が保管されています。

八角造りの大型御輿で、神輿高3.18m、担ぎ棒を含めた全長は5.57mを測ります。寛政8(1796)年の火災で焼失したため、伯耆国日野郡黒坂村の人々によって文化11(1814)年に寄進されたものです。担ぎ棒には、そのことを示す銘が残ります。

平成14年度の国民文化祭に合わせ、この御輿は保存修理をされました。町内にある御輿では最大で、御幸の中心的存在であった大智明権現の御輿であることから、平成15年12月2日に大山町指定文化財となりました。

(社会教育課文化財室)



▲大神山神社奥宮の八角神輿



「紙芝居「大山日本遺産物語」上演会 & お地蔵さまを描こう」



11月10日(土) 14時～ / 図書館名和分館(名和公民館内)

大山開山1300年を記念して、「大山日本遺産物語」の紙芝居を制作された吉島潤承さん(前大山寺支院圓流院館長)に演じていただきます。その後、2作品のうちの1作品の絵を描かれた薄井恵子さんと一緒にお地蔵さまを描きましょう。

- ◆紙芝居 14時～15時(申込不要)
- ◆お絵描き 15時15分～16時15分(要申込・先着20名)

申し込み、お問い合わせは、
 大山町立図書館名和分館へ

～本館の休館について～

期間：11月12日(月)～26日(月)

本館は、空調設備工事のため、上記の期間を休館します。

期間中、本館の本は、貸し出しできませんが、分館は通常どおり開館していますので、ご利用ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



2018 読書週間：標語 「ホッと一息 本と一息」

10/27(土)～11/9(金)

本といっしょにちょっと一息つきませんか。読みたかった本やお気に入りの一冊を開きましょう。図書館では、本探しや調べもののお手伝いもいたします。まずはお気軽に図書館へお出かけください。

11月の図書館

3日(土) 大山町ブックマルシェ(本館)

- ・本のリサイクル市 / 9:00～16:00
 - ・麦の会 in 図書館 / 11:00～11:30
- ※詳しくはチラシか広報10月号の「うるおい通信」をご覧ください。

10日(土) おはなし図書館(本館)

11:00～11:30



図書 の紹介

一般・文学

- ☆文字渦 / 円城 塔
- ☆幸田文全集 1～23 / 幸田 文
- ☆引火点 / 笹本 稜平
- ☆つかのまのこと / 柴崎 友香

その他

- ☆サリン事件死刑囚中川智正との対話 / アンソニー トゥー
- ☆走り続ける力 / 山中 伸弥

- ☆台風についてわかっていること知らないこと / 蔭山 克秀
- ☆体にうれしい藤井めぐみのまいにち納豆 / 藤井 恵

児童書・絵本

- ☆妖怪ビジュアル大図鑑 / 水木 しげる
- ☆おどろき！変身する生き物 / 学研プラス
- ☆うずらかあさんとたまご / 島野 雫
- ☆みえるとかみえないとか / ヨシタケ シンスケ

災害と人権

災害列島日本。

今年も7月には、西日本豪雨があたり、続いて台風20号、台風21号が襲い、9月6日には震度7の北海道胆振東部地震が発生しました。現在でも多くの方が避難生活を送っておられます。

9月11日には、第4回みんなの人権セミナーで、日野ボランティア・ネットワークの山下弘彦さんに『災害と人権』災害にも強い地域づくり「顔の見える関係づくりと支え合い活動」のテーマで講演をしていただきました。普段からの地域コミュニティのつながりと結びつきが、防災、減災にとって極めて重要であることを話されました。

〈被災と人権〉

まず、災害が発生した直後には、生命そのものが危険にさらされます。続いて食料や水、安全の確保や医療など、生存権の保障が一番の課題になります。



避難場所に避難した場合には、プライバシーを含めた個人の尊厳や幸福追求権などの保障が課題となります。

大人は仕事を奪われ、子どもたちも学習の場を奪われます。緊急の段階を過ぎて、復旧、復興の段階になると住居や雇用、教育などの社会的、経済的な権利の保障が重要になってきます。

そして、災害からの復興の過程のなかで、被災された人の人権が保障されていかなければなりません。

〈災害と人権侵害〉

子どもや高齢者、障がいのある人、病気の方、外国人などの「要支援者」は、避難所の中でも、情報が受け取れない、移動が自由にできないなど、避難生活でもより不自由な生活を強いられます。また、女性や子育ての視点からの対策も必要です。

さらに、看過できない問題は、偏見に基づく差別などの人権侵害です。

東日本大震災では、福島第一原子力発電所の事故で福島県から県外に避難した人たちが、避難先で心無い差別を受けることがありました。住み慣れた故郷を離れ避難生活を余儀なくされている人が、避難先でいられない差別を受けるようなことは決してあってはならないことです。



共同講座
男女参画
兼
第6回
みんなの人権
セミナー

◆日時 11月26日(月) 19時〜

◆場所 人権交流センター

◆演題 「私たちの周りにおけるDV／デートDV／見聞きした時の対応について」

◆講師 伊田広行さん(DV加害プログラム・NOVO(ノボ)運営、立命館大学非常勤講師)

◆その他

- ① 小学校入学までを対象に託児を設けます。希望される場合は、お子さんのお名前・年齢を添えて、人権推進室に申込んでください。
- ② 手話通訳を希望される場合は、人権推進室まで申し込んでください。

◆問い合わせ先

福祉介護課人権推進室(人権交流センター内)

☎0859・54・2286
FAX 0859・54・2413

おめでと〜ございませす 優秀経営農林水産業者等表彰

鳥取県優秀経営農林水産業者等の表彰式が、10月10日に知事公邸で行われ、日ごろから意欲的に農林水産業に取り組み、地域振興に貢献された方々に、平井伸治鳥取県知事より表彰状が贈られました。

本町からは5名の方が受賞されました。



▲左から荒木さん、鹿島さん、平井知事、西山さん、坂田さん、佐藤さん

優秀経営農林水産業者

園芸・農産 鹿島 功さん（塩津 畜産 西山友之さん（香取）

農林水産業功労者

畜産 佐藤 修さん（萩 原）

未来を担う青年農林水産業者

園芸・農産 坂田裕明さん（新栄）

いきいき農林水産業者

園芸・農産 荒木正昭さん（退休寺）

環境保護に関心を！

9月27日に「第55回西部地区野鳥巣箱コンクール」の審査会が行われました。

このコンクールは、野鳥保護の理解と関心を深める目的で行われているもので、西部地区の小・中学校から230点の応募があり、入賞作品54点が選出されました。入賞作品は全県の「野生動物のすみかコンクール」に出品されます。大山町関係の入賞者は次のとおり

中学生が姉妹都市の文化を体験

韓国・襄陽(やんやん)郡訪問

大山町の中学生14名が、8月7日〜10日の4日間、姉妹都市の韓国襄陽郡を訪問しました。

大山町と襄陽郡の中学生の交流は、隔年で相互に訪問をしています。

訪問した中学生は襄陽郡庁で郡守を始めとする職員のみなさんから手厚い歓迎を受けました。また襄陽郡内にある寺院や遺跡博物館などの見学や体験を通して、隣国である韓国の文化にふれたり、襄陽郡のみなさ

んとの交流を深めました。

参加した中学生は「郡庁を訪問した時に、たくさんの方が出迎えてくださってうれしかった」「韓国の人は日本に興味がある人が多いと感じた」「2日目に水陸両用車に乗った。運転手さんがおもしろい方で言葉は通じなかったが、楽しかった」「親切にしてもらい、より韓国が好きになった」などと韓国訪問の感想を話していました。

です。

【大山町長賞】

原口 朋也さん（大山小）
齋木 星那さん（大山中）

【大山町教育長賞】

兜山 真希さん（大山中）
相原 夢果さん（大山中）

【西部町村会長賞】

大森 颯汰さん（大山中）
飯田宗一郎さん（大山中）

【新日本海新聞社社主賞】

松原 優吾さん（大山中）

【優秀賞】



▶郡庁にて記念撮影

10月1日ダイヤ改正

日本交通バス下市線が
イオンに接続、より便利に!

日本交通バス下市線（下市入口（米子駅）は、通院や買い物等に利用しやすくするため、これまで下市入口から米子駅間を4往復していたバスのうち、1往復を下市入口からイオン東館に運行区間を変更するなどのダイヤ改正を行いました。

また米子地区ではこのダイヤ改正に併せて、新たにイオン東館と米子市中心部を循環する循環線の運行が始まりました。下市線からイオン東館で循環線に乗り継ぐ（割引あり）と、米子医療センター、山陰労災病院、天満屋、高島屋、米子駅にも便利です。便利になった下市線、循環線をご利用ください。

【下市線ダイヤ】（平成30年10月1日改正）

| | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 米子駅行き | 下市入口 | イオン東館 | 米子駅 |
| | 8:05 | → | 8:55 |
| | 10:03 | 10:38 | |
| | 15:00 | → | 15:50 |
| 下市入口行き | 米子駅 | イオン東館 | 下市入口 |
| | 7:05 | → | 7:57 |
| | 9:00 | → | 9:50 |
| | 17:10 | → | 18:03 |

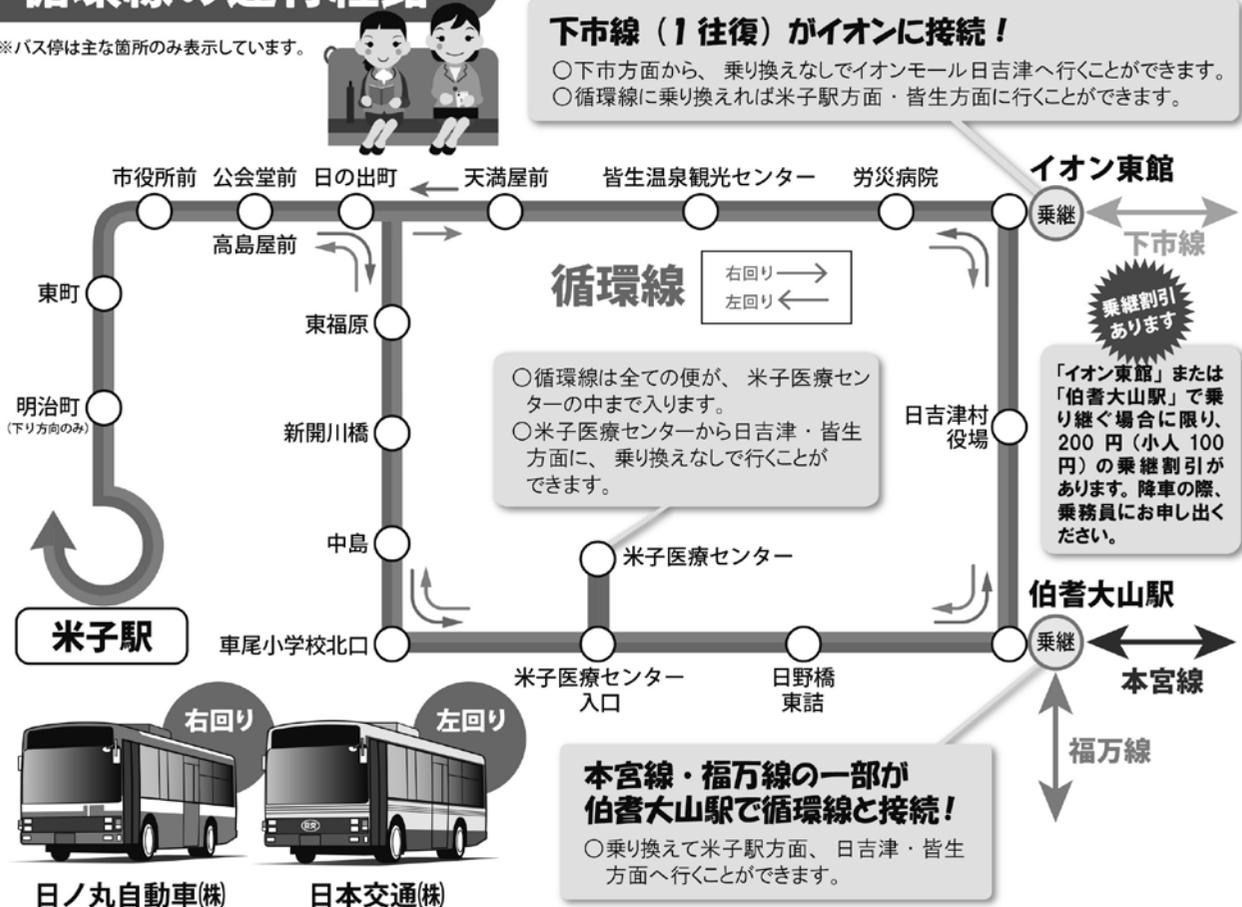
*太字は土、日、祝日と8月13～15日運休します。
→印は、イオン東館には停まりません。

◆問い合わせ先

- ・下市線に関すること
日本交通（株）米子営業所
☎0859・33・9116
- ・循環線に関すること
日本交通（株）米子営業所
☎0859・33・9116
- ・日の丸自動車（株）米子支店
☎0859・32・2123
- ・鳥取県西部地域公共交通活性化協議会（鳥取県地域振興部交通政策課内）
☎0857・26・7641

循環線の運行経路

※バス停は主な箇所のみ表示しています。



循環線には右回りと左回りがります。

救急医療情報キットを配布します

救急医療情報キットの利用を希望される方へキットを配布します。万一の緊急時の備えにご活用ください。

◆救急医療情報キットとは

かかりつけの病院や持病、薬の服薬情報、緊急連絡先などを記入した用紙を専用の保管容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の緊急時に備えるものです。かけた救急隊が情報を確認することで、適切で迅速な処置が可能となり、ご家族への連絡もスムーズに行えます。

◆配布対象者

大山町内に住所を有し、救急医療キットの配布を希望される方。

◆配布方法

配布をご希望の方は、左記の配布場所で配布申請書に必要事項を記入し、提出してください。キットをお渡しします。

【配布場所】

- ・住民課
- ・大山支所建設課総合窓口室
- ・中山支所地籍調査課総合窓口室
- ・福祉介護課

◆費用

希望者の方へ無償で配布します。

◆救急医療情報キットの内容

- (1) 保管容器
- (2) 医療情報記載用紙
- (3) 玄関用シール
- (4) 冷蔵庫用マグネットシール

◆救急医療情報キットの使い方◆

② 救急医療情報キットを冷蔵庫内の見えるところに入れておきましょう。



① 医療情報記録用紙に情報を記入し、専用の保管容器に入れて下さい。

医療情報記録用紙

- ・健康保険証 (写し)
- ・薬剤情報提供書 (写し)
- ・診察券 (写し)
- ・本人の写真

なども一緒に保管容器に入れてください



容器に入れて下さい

④ もしもの時!!
救急隊がステッカーを発見し、冷蔵庫内から救急医療情報キットを取り出し、情報を確認します。

情報伝達が迅速に行われます



③ ステッカーは、救急隊が発見しやすいよう定められた位置に貼り付けてください。



玄関ドア内側の上部 (シール)



冷蔵庫の外側 (マグネットシール)

◆問い合わせ先
福祉介護課

☎ 0859・54・5207

※救急医療情報キットの配布は1世帯1セットとします。ただし、医療情報記載用紙については、利用を希望される方全員に配布します。

働き世代のための 生活習慣病予防講習会 参加者募集

昨年に引き続き標記の講習会を行います。食生活改善推進員による健康に関するお話と、塩分を減らしても料理を美味しくする工夫をお教えします。地域のみんなで一緒になって、健康づくりに取り組みましょう。お誘いあわせて、ご参加ください。

◆日時 12月9日(日)
10時～

◆場所 保健福祉センターなわ

◆内容 食生活改善推進員による
講話、調理実習など

◆定員 30人

◆締切 11月30日(金)

◆参加費 無料

◆携行品 エプロン、三角巾、
筆記用具

◆申込み先

食生活改善推進員協議会事務局(健康対策課内)

☎ 0859・54・5206

西部消防局から

11月9日は

『119番の日』です

▼通報時は、落ち着いて係員の質問に答えてください。いざという時に備えて、電話のそばに住所、名前、電話番号を記入したメモを準備しておきましょう。

▼携帯電話からの通報は災害現場の地点特定に時間を要することがあります。その場合は、付近の目標となる建物や住居表示などを確認してお伝えください。

平成30年 秋季全国火災予防運動

防火標語

「忘れてない? サイフに

スマホに 火の確認」

〔実施期間〕

11月9日(金)～11月15日(木)

コンロ、暖房機器、離れるときは、火を消しましょう。

平成28年12月に発生した新潟県糸魚川市大規模火災の教訓を踏まえ、小規模な飲食店等に対する消火器具の設置義務が強化されます。

消火器を設置しなければならない防火対象物として、飲食店等で延べ面積150㎡未満のもののうち、火を使用する設備または器具(防火上有効な措置として総務省令で定める措置が講じられたものを除く。)を設けたものが追加されます。

飲食店を経営されます事業者の皆様には、法令改正の趣旨をご理解のうえ、2019年10月1日までに消火器の設置をお願いします。なお、今後、当局から法改正のご案内及び現地確認等を行う予定としています。詳細は、最寄りの消防署にお問い合わせください。

◆問い合わせ先
消防局予防課

☎0859・35・1954

大山消防署

☎0859・39・5002



はい! 消費生活相談窓口です

宅配便業者の名前を使い 不在通知のショート メッセージ(SMS)が!

不在通知は
家にくるはず!
無視だ!



実在の社名をかたり、ショートメッセージで不在通知が届いた、という相談が全国的に増加しています。このメールから偽サイトに誘導して、不審なアプリをインストールさせる仕組みになっています。

知らないうちに大量のSMSを送信されたり、買い物を決済されていたりするなど、被害が発生しています。

インストールしてしまった場合、スマートフォンは機内モードにして悪用されることを阻止してください。不審アプリを削除、初期化など対処をする必要があります。携帯電話会社に相談をしてください。

*不審なメールは無視をしましょう。

お客様にお荷物のお届けがありましたが、不在のため持ち帰りました。配送物は下記よりご確認ください。

https://○○-○○
○○

【偽メールの例】

◆お気軽に消費生活相談窓口をご利用ください◆

住民課

☎0859-54-5210 (平日)

鳥取県消費生活センター

☎0859-34-2648

混合粗大ごみの受入れをします

ご家庭で不要になった混合粗大ごみの処理を希望される方は、名和クリーンセンターへ直接持ち込んでください。

なお、家庭から出るごみが対象となりますので、事業所ごみの持ち込みは受け入れしません。

○混合粗大ごみとは

【燃える物と燃えない物が一緒になっていて、自力での分別が困難な粗大ごみ】

例) 電気毛布、電気カーペット、スプリング入りソファ、マッサージチェア、オルガン、木製の台付きミシン、ゴルフバッグ、チャイルドシートなど

※ねじ等で接合しており、容易に分解できるものは持ち込みできません。

※係員が混合粗大ごみではないと判断した場合は、受け入れできないことがありますので予めご了承ください。

◆日時 11月18日(日)

9時～12時 / 13時～15時

◆持ち込み場所

名和クリーンセンター

◆手数料 10kgあたり205円

●当日、混合粗大ごみ以外は受け入れを行っていません。

※手数料は、持ち込み場所において、現金でお支払ください。

◆問い合わせ先

住民課 ☎0859・54・5210

大山支所総合窓口室

☎0859・53・3311

中山支所総合窓口室

☎0858・58・6111

※当日の連絡先 名和クリーンセンター

☎0859・54・5352

クマの出没に注意を!

クマは、冬眠前にエサを求め活発に行動しますが、今年の秋は山中でのエサ不足が予想されており、柿や栗等を求めて集落周辺等へ出没する可能性があります。広報だいせん7月号に掲載の注意事項も参考にして、田畑で農作業をされる際や山菜採りなどで入山される際にはご注意ください。

「出会わないようにすること」が一番重要!

- 集落周辺等にエサとなる誘因物(生ごみや放棄作物)を放置しない。
- 柿や栗等の早期収穫。
- 鈴やラジオを鳴らす、声を出して人の存在を知らせる。
- 入山時は複数人で行動する。
- においの強い食べ物などを持ち込まない。
- クマの気配や痕跡があったらすぐにその場を立ち去る。

出会ってしまっても慌てず冷静に!

【クマがこちらに気付いていない場合】

気付かれないように静かにその場を立ち去る。

【クマがこちらに気付いている場合】

ゆっくりと、背中を見せず後退する。
クマとの間に立木などの障害物をはさむ。

【クマが攻撃してきた場合】

手に持っている物や丈夫な木の棒などで、クマの鼻先や目を攻撃する。
クマ撃退スプレーを持っている場合は、クマの顔めがけて噴射する。
攻撃を避けられない場合は、膝をついて身をかがめ、頭・首を守る。

クマの目撃情報は、

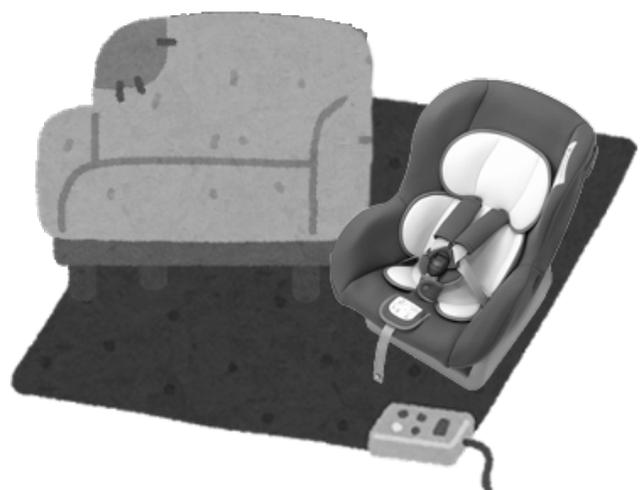
農林水産課(☎0858-58-6116)へお寄せください。



ご希望の方は、本庁総務課、各支所総合窓口室、名和公民館でお求めください。

1冊 700円(税込)

鳥取県民手帳
好評発売中!!



町長の「余白に書かせて!」

今月号から、町長の情報発信コーナーを設けることにしました。県内でもいくつかの自治体が、それぞれの首長のメッセージや活動記録にあわせた所感などを広報誌に掲載していますので、そのアイデアを少し真似させてもらいます。

町職員向けには不定期ですが、今年に入ってから役場のシステムを使って情報発信をしています。すべての職員が興味を持って、私のメッセージを読んでいるかはわかりませんが、ある程度、町政の方針や政策の考え方など、仕事の方向性を考えるときに役立ちそうなことを伝えるようにしています。

そして、このたびはその範囲を拡大して、町内全戸に配布される広報だいせんを活用して、政策に関しての考え方をはじめとして、いろいろな情報を発信していこうと考えています。



毎月1回ではありますが、町民の皆さんと情報共有を行いながら、大山町のまちづくりを皆さんとともに進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願います。本コーナーへのご意見がございましたら、遠慮なくお寄せください。

(文責・町長 竹口大紀)

絵画展のご案内

大山公民館で、日展作家と院展作家が描く『大山山麓の美しい風景』大山芸術祭が開かれます。ぜひ、お出かけください。(※入場無料)

◆期日 10月26日(金)

～11月2日(金)

◆展示時間

10時～17時
(最終日は14時で終了)



鳥取県最低賃金改正

◆時間額

762円

◆発効日

平成30年10月5日

鳥取県最低賃金は、業種や規模及び常用・臨時・アルバイト・パート・嘱託などの雇用形態や呼称にかかわらず、県内の事業場で働くすべての労働者に適用されます。

◆問い合わせ先

鳥取労働局労働基準部賃金室
☎0857-29-1705

脱メタボ健康塾

今年度も、仲間と共に生活習慣の改善に取り組む講座を4回シリーズで開講します。自分の生活習慣を見直して、この冬をスッキリと過ごしませんか？

①11月27日(火)

13時～15時

講話「メタボリック

シンドロームと糖尿病」

講師…名和診療所

山田まどか所長

※講演のみの参加は、申込不要です。

②12月21日(金)

9時30分～13時30分

演習「日々の食事で脱メタボ！」

講師…管理栄養士

③1月31日(木)

13時30分～15時30分

講義・演習

「タオルを使ってメタボ体操！」

講師…健康運動指導士

松田万里さん

※タオルをご持参ください

④2月27日(水)

13時30分～15時30分

ふりかえり

※健康ミニ講話

※骨密度・血管年齢測定

◆対象 おおむね70歳以下で、お腹まわりの気になる方

◆場所 保健福祉センターなわ

◆申込期限 11月13日(火)

◆申込み先 健康対策課

☎0859・54・5206

**ふぐ処理師試験及び
準備講習会があります**

鳥取県ふぐの取扱い等に関する条例第5条に規定するふぐ処理師試験、また、それに伴う準備講習会が実施されます。

ふぐ処理師試験

- ◆試験日 平成31年1月25日(金)
- ◆学科試験…10時～
- ◆実技試験…13時～
- ◆場所 伯耆しあわせの郷
- ◆受験手続 12月3日(月)～14日(金)の期間に、規定の書類を添えて、西部総合事務所生活環境局に



申し込んでください。郵送は、期
間必着。
◆手数料 9,040円
◆問い合わせ先
西部総合事務所生活環境局
☎0859・31・9321

ふぐ処理試験準備講習会

- ◆日時 平成31年1月10日(木)
- ◆場所 伯耆しあわせの郷
- ◆受講手続 12月3日(月)～14日(金)の期間に米子食品衛生協会事務局(西部総合事務所3階生活環境局内)に申し込んでください。
- ◆受講料 26,500円
(食品衛生協会会員は23,000円)
- ◆問い合わせ先
米子食品衛生協会事務局
☎0859・35・0708

**毒キノコによる
食中毒に注意しましょう**

夏の気温が高く、その後の適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生することが考えられます。

食用のキノコと確実に判断できないキノコは、『採らない! 食べない! 売らない! 人にあげない!』

**大山恵みの
里だより
vol.124**

問い合わせ先
大山恵みの里公社
☎0859-54-6600

**道の駅
自慢の逸品(その4)**

大山町産原料で作ったオリジナル人気商品のご紹介、第4弾は『大山そば』です。
800年以上の歴史を持つ『大山そば』は、大山博労座で開かれていた「日本三大牛馬市」とも深い関わりをもつ伝統の味です。
大山恵みの里オリジナルの大山そばは、そば粉に100%大山町産の玄そば使用。豊かなそばの香りが楽しめる道の駅オープン以来、変わらぬ人気商品です。



▲『大山そば(2食入り)』

▼大山恵みの里の冬ギフト

大切なあの人への冬のギフトに、「大山の食の恵み」を贈りませんか?
大山恵みの里がセレクトした、おすすめ地産商品の数々を、ギフトカタログ(チラシ)や大山恵みの里ホームページでご案内します。ホームページからインターネットでのお申込みも可能です。(www.daisen-neguminosatonet/ 検索:大山恵みの里 通販サイト)
この冬ぜひ、「地元自慢の逸品」をギフトとしてご利用ください。
※ご案内の開始は11月1日からを予定しています。

**▼11月24日(土)は、
道の駅「わいわい恵み市」へ**

当日は道の駅前面駐車場に特設会場を設け、採れたての新鮮な野菜や果物を満載した軽トラ市や、大山の恵みを存分に味わっていただける飲食ブースを展開します。
ご家族やお友達と、どうぞお出かけください。日程・出店内容など、詳しくはポスターや大山恵みの里ホームページをご覧ください。

司法書士による 「無料法律相談会」

鳥取県司法書士会が相談会を行います。お気軽にご利用ください。

- ◆日時 11月22日(木) 18時～20時
(前日までに要予約)
- ◆場所 米子コンベンションセンター 第1会議室
- ◆内容 相続・遺言、不動産の贈与・売買、商業登記、高齢者・障がい者の財産管理、借金・多重債務など身の回りの法律相談
- ◆問い合わせ先
鳥取県司法書士会
☎0857・24・7024

カウンセラーによる 『ごころの相談会』

子どものこと、家族や知人のこと、自分のことなど、日ごろ気になっている悩みや困りごとをカウンセラーに話してみませんか？

- ◆日時 11月24日(土)
9時30分～15時
- ◆場所 米子コンベンションセンター 第4・5会議室
- ◆対象 どなたでも可能。要予約。
※相談は無料。秘密は厳守されます。
- ◆予約・問い合わせ先
ライフサポートセンターとっとり
☎0120・82・5858
FAX 0857・32・5454

「気軽に筆談セミナー」 (参加無料)

筆談をお願いされたことはありませんか？コツを知れば、よりわかりやすく伝わります。

- ◆日時 11月27日(火)、12月8日(土)
10時～正午(両日とも)
- ◆場所 米子コンベンションセンター 第2会議室
- ◆対象 筆談に興味のある方、窓口・接客業務に携わる方(高校生以上)
- ◆定員 各回30名
- ◆申込期限 11月20日(火)
- ◆申込方法
氏名(ふりがな)、参加日、連絡先、勤務先(※任意)を記入し、ファクシミリまたは電子メールでお申し込みください。
- ◆申込み・問い合わせ先
(特非)全国要約筆記問題研究会鳥取県支部 事務局(担当・内藤)
☎・FAX 0859-22-2301
メール:zenyotottori@yahoo.co.jp

労働セミナー

「職場のトラブルと対処法」

～労働相談の現場から～

パワハラやサービス残業、解雇・退職など職場のトラブルとその対処法を相談員が解説します。

- ◆日時 11月16日(金)
14時～15時30分
- ◆会場 米子市立図書館 2階研修室
- ◆参加 無料
- ◆対象 どなたでも参加できます。
※失業給付受給中の方は、求職活動の実績になります。
- ◆申込 必要
- ◆当日参加も可能ですが、資料準備のため事前申込をお願いします。
- ◆問い合わせ先
鳥取県中小企業労働相談所
米子(平日9時～17時30分)
☎0120・662・396

指名手配被疑者の 検挙にご協力を！

指名手配被疑者によく似た人をみかけたら、どんなことでもかまいません。警察に通報をお願いします。

◆琴浦大山警察署

☎0858・49・8110

平成30年分 年末調整説明会

源泉徴収義務者の方を対象とした年末調整説明会があります。

- ◆日時・会場
①11月19日(月)
13時30分～16時30分
米子コンベンションセンター
- ②11月20日(火)
13時30分～16時30分
境港シンフォニーガーデン
- ※両日とも「年末調整説明会」に引き続き、「消費税の軽減税率制度等説明会」を行います。
- ※駐車場は混雑が予想されます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ◆問い合わせ先 米子税務署
☎0859・32・4121

税務研修会のご案内 「平成30年分 年末調整のしかた」

- ◆日時 11月22日(木)
13時30分～16時30分
- ◆場所 保健福祉センターなわ
- ◆問い合わせ先
公益社団法人 米子法人会
☎0859-32-6616

小規模企業共済制度 をご存知ですか？

個人事業主（共同経営者含む）・会社等の役員の方が事業を廃止された場合に備えて、あらかじめ資金を準備しておく共済制度で、「小規模企業の経営者のための退職金制度」といえます。特徴は、掛金が全額所得控除。毎年、掛金が所得控除となるため節税効果があります。

（独）中小企業基盤整備機構が運営し、商工会、商工会議所、青色申告会、金融機関の窓口で取り扱いしています。

◆問い合わせ先

（独）中小企業基盤整備機構
共済相談室

☎050・5541・7171

人事異動（10月1日付）

（*カッコ内は旧任）

▼健康対策課主幹

金田 弘美（住民課主幹）

▼健康対策課主幹

谷 麻紀子（住民課主幹）

▼財務課主幹

柏木 千秋（建設課主幹）

▼建設課主幹

木町由佳理（財務課主幹）

よろしく願います。

月1回中山温泉で映画を観ませんか？

◆11月上映作品

「第九条」



20XX年、時の政府は日本国憲法第九条の改正の検討に入った。国民の意思を聞くため、諮問委員会を様々な職種20代の若者12人のメンバーで作った。それぞれの立場で第九条の議論を重ねて行く中で、日本国憲法成立の歴史を知り、それぞれが日本の未来を真剣に考え、自分の想いを吐露する。果たして、激しい意見の格闘の末、彼らの出した

結論は？

◆日時 11月17日(土) 10時/14時/18時半 3回上映

◆料金 大人 800円 中学生以下 500円 未就学児 無料

◆場所 中山温泉生活想像館 わくわくホール

◆問い合わせ先 中山温泉 ☎0858・49・3330

◆主催 ええがな大山実行委員会 後援：大山町、大山町教育委員会

大山チャンネル 11月の主な放送内容

(6:00 / 9:00 / 12:00 / 15:00 / 18:00 / 21:00 / 24:00)

※初回のみ12時スタート

大山チャンネルはデジタル113ch

11/11~

◆「だいせん 100%TV ~大山町総合文化祭特集」

10月27・28日開催の大山町総合文化祭。この日のために練習を重ねてきた子どもや住民たちによるステージ発表、大山チャンネルが演出を担当した「町民参加！大山町ウルトラクイズ」など、みどころ満載でお送りします。

11/1~、11/21~

◆「PICK UPだいせん」

町のニュース、地域の話、大山町の知られざる姿に迫る特集企画など、独自の取材と視点で大山町の“いま”をお伝えします。



(写真：11月1日放送予定「住民が発掘！光徳に御幸岩!？」)

◆連絡先

アマゾンラテルナ鳥取大山オフィス

☎0858-58-2318



◆なかやま温泉
☎ 0858-49-3330

こんにちは。なかやま温泉ゆー
ゆー倶楽部ナスパルです。
色とりどりの紅葉の季節を迎え、
徐々に朝夕の寒気が身にしみるよ
うになりました。中山温泉でほっ
かばかに温まりましょう。皆さま
のご来館をお待ちしています。

【施設利用のご案内】

生活想像館には、わくわくホー
ルを始め、音楽スタジオや研修室、
会議室があり、利用することがで
きます。



▲防音完備の音楽スタジオ

講演会や定期演奏会、各種団体
の会議やヨガ教室、ダンス教室、
楽器練習など、これまで多数利用
していただいております。
この秋から何か始めたい方や、会
場を探している皆さん、なかやま温
泉はいかがでしょう？施設のこ
となどお気軽におたずねください。

11月イベント情報

◆なかやま温泉朝市

11月4日(日) 9時~11時30分
9月以降の朝市の開催場所は、
中山温泉生活想像館です。天候を
気にせず楽しんでいただけます。
また、出店者も募集していますの
で、気軽にお問い合わせください。

【出店受付場所】

生活想像館入口で、当日8時30
分から受付を開始します。
*事前受付はしませんので、ご了
承ください。

◆11月の『お風呂の日』は27日です。

抽選会では、ラッキーな方に入
浴券が当たります！
(*26日は休館日)

【休館日】

11月12日(月)、26日(月)は休館
します。

広告

鳥取県の名峰・大山の特産品を取りそろえた山の駅
焼きたてパンや珈琲が楽しめるベーカリー・カフェも併設

だい せん さん どう いち ぼ
大山寺 参道沿い 大山参道市場
mont·bell FRIEND MARKET

スタッフ募集中

① パンの製造、販売(※経験者歓迎)
② カフェのキッチン、ホール、お土産品の販売など

【勤務時間】 9:00~18:00の時間内で応相談
【時給】 ¥1,000 【交通費支給】 月額 ¥20,000まで

お問い合わせ TEL:0859-52-6020 担当:今井

編集後記

今月号から、町長のコラム連載が
スタートしました。連載を開始する
にあたって一番迷ったのがコーナー
タイトルです。「伝心録」「徒然日記」
や「育」など40ぐらいいあったタイ
トル候補の中から見つけたのが『余白』
という言葉。堅苦しくない、次も読
みたくなる…、そんなタイトルに
したい！の思いから、最終的に決め
たタイトルは「余白に書かせてー」。
町長の新コーナー、どうぞお読みく
ださい。

(つづ)



大山町広報 11月号
◆発行：大山町役場
◆編集：総務課
※eメール
soumu@daisen.jp

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地
TEL 0859-54-3111
FAX 0859-54-2702
大山町ホームページ <https://www.daisen.jp/>
◆印刷：東京印刷株式会社

私たちのまち (10月1日現在)

○人口; 16,399人 (-4)
男 : 7,911人 (4)
女 : 8,488人 (-8)
○世帯数; 5,725世帯 (10)

今月の**税・保険料**

国民健康保険税 (6期)

納期限 **11月30日(金)**

※期限までに納めましょう